

第1回「三井ゴールデン匠賞」受賞者

グランプリ

株式会社 能作 のうさく 代表: 能作 克治 のうさくかつじ ※団体として受賞 高岡銅器 / 富山県高岡市

富山県高岡市に400年にわたり伝わる伝統的な鑄造技術を受け継ぎながら、新しい試みを行っている。独自の展示会開催や、「錫(すず)」を用いて使う人が自在に「曲げて使う器」を開発し、高岡銅器のイメージを変えた。そのノウハウは産業全体の発展を視野に同業者に公開、職人の減少と高齢化が進む中、雇用を増やし若年層への技術の継承に成果を上げるなど、多岐にわたる活動が評価された。



受賞者5組の中から一般投票で選ばれた モストポピュラー賞

株式会社 岩鑄 いわちゆう 代表: 岩清水 晃 いわしみずあきら ※団体として受賞 南部鉄器 / 岩手県盛岡市

400年以上の歴史をもつ南部鉄器。黒光りする渋い鉄瓶が有名だが、南部鉄器の工房の一つである岩鑄は、木炭、ガス、IH調理器と熱源を選ばない鉄瓶やカラフルな色の急須を開発し、現在は欧州、北米、アジアなど海外においても実績をあげている。伝統的な技術、意匠を守りながらも、現在の生活様式に順応できるような技術革新を実現している点が評価された。



株式会社 杉原商店 すぎはらよしなお
杉原 吉直 すぎはらよしなお 越前和紙 / 福井県越前市



江戸時代から続く越前和紙の紙問屋杉原商店の代表でありながら、「DECO-WASHI(デコ和紙)」や「漆和紙(うるわし)」など異業種との融合や新技術の開発などの取り組みが評価された。

株式会社 t.c.k.w たちかわゆうだい
立川 裕大 たちかわゆうだい 伝統技術ディレクター



漆や竹細工など、日本各地の伝統技術の活動領域を、最新のインテリアデザインの世界に拡張させることに貢献したプロジェクト「ubushina」などの取り組みが評価された。

株式会社 福島 武山 ふくしまぶざん
福島 武山 ふくしまぶざん 九谷焼 / 石川県能美市



九谷焼の伝統技法・赤絵細描の第一人者。2mm幅に7本の線を描くという精緻な赤い線が特徴。後継者育成に尽力する一方、仏エルメス社の時計文字盤の製作など、国際的な活躍と実績が評価された。

三井広報委員会とは

三井グループ企業24社で構成し、様々な文化活動および広報活動を通じて、国際交流や地域社会の活性化に貢献すると共に、社会の繁栄と福祉に寄与し、三井グループのより一層のイメージ向上を目指しています。

「人を大切にし、多様な個性と価値を尊重することで社会を豊かにする」ことを目的とした社会貢献活動。



スポーツ

三井ゴールデンクラブ賞

一般的に注目が集まりやすい攻撃陣や投手陣だけでなく、野球の土台ともいえる守備の大切さを知ってほしい、守備陣にも光を当てたい、という想い



文化

三井ゴールデン匠賞

日本の伝統文化を継承しつつも、未来につながる「革新的な」アイデアを取り入れ、さらに発展させている伝統工芸の担い手に、注目と称賛が集まる機会を創りたいという想い



三井ゴールデン匠賞



伝統はアートだ。
工芸はクールだ。
伝統的であり革新的。
実用的かつ美しい。
そんなイノベーションあふれる
伝統工芸の「匠」を讃えたい。

第2回「三井ゴールデン匠賞」応募概要

応募期間: 2017年9月7日(木)~11月20日(月)



三井広報委員会

三井広報委員会 会員会社

三井工業 新日本空調 三井住友建設 サッポロビール 東レ 王子ホールディングス デンカ 三井化学 日本製鋼所
三井金属 東洋エンジニアリング 三井造船 商船三井 三井物産 三越伊勢丹ホールディングス
三井住友海上 三井住友銀行 三井住友ファイナンス&リース JA三井リース 三井生命
三井住友トラスト・ホールディングス 三井不動産 三井倉庫ホールディングス エムサービス



サイトアクセスは
こちらから



三井広報委員会

<http://mgt.mitsui-pr.com/>

三井広報委員会は、「人の三井」という三井グループらしさをベースに「人を大切に、多様な個性と価値を尊重することで社会を豊かにする」という理念のもと、さまざまな活動を行っています。

例えば「三井ゴールデン・クラブ賞」は攻めだけでなく守りの大切さも知って欲しいという想いから、プロ野球の「守備のベストナイン」を毎年表彰しています。

日本の伝統工芸においても、昨今、後継者不足など課題があるなか、古来の技法や様式を継承しながら、革新的なアイデアを取り入れ、さらなる発展に貢献されている方々がいらっしゃいます。

「伝統×イノベーション」の担い手に注目と称賛が集まる機会を創りたい—そんな想いから、「三井ゴールデン匠賞」を創設しました。



第2回三井ゴールデン匠賞

◇ 応募概要

- 応募期間 2017年9月7日(木)～11月20日(月)※当日消印有効
- 応募資格 ①伝統的工芸品の職務に従事している個人または団体。(職人、作家、デザイナー、プロデューサー、ディレクター、経営者)
②伝統工芸に新しいアイデアを加味したオリジナリティあふれる取り組みを実現していること。
③実際にその取り組みを現在も進行させており、継続性が認められること。
④国際的な取り組みを行っている、または今後海外に進出・発展する可能性が高いこと。
⑤予備審査を通過した場合、期限内に事務局が指定する宛先(東京都港区)に作品を送付できること。

- 応募方法 公式サイトより専用の応募用紙をダウンロードしていただき、必要事項を記入の上、作品の写真を添えて郵送してください。

「どのような革新的試みであるか」については、特に詳述してください。自薦、他薦は問いません。

<http://mgt.mitsuipr.com/about/>

応募書類送付先 〒107-8550 東京都港区南青山3-11-13「三井ゴールデン匠賞」事務局(宣伝会議内)

◇ 実施要項

- 概要
- 主催：三井広報委員会
- 後援：経済産業省、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会
- 特別協力：宣伝会議
- 贈賞式：2018年3月20日(火) 於:SMBCホール<東京都千代田区>

■ 賞の種類および賞金

賞の種類：「三井ゴールデン匠賞」若干名(個人または団体)
※「三井ゴールデン匠賞」受賞者の中から、さらに「グランプリ」および一般投票(Web)による「モストポピュラー賞」を各々1名または1団体選出致します(贈賞式で発表)

賞金：「三井ゴールデン匠賞」各50万円
「グランプリ」50万円 <三井ゴールデン匠賞と合わせて計100万円>
「モストポピュラー賞」20万円 <三井ゴールデン匠賞と合わせて計70万円>
※その他、三井ゴールデン匠賞の作品について、展示などPR支援を行う予定です。

◇ 審査について

- 審査基準 革新性を基本に、技術・技能、独自性、有用性、持続性、国際性の5項目を審査基準とする。審査項目においては**持続性を最も重視**する。

- [技術・技能] 卓越且つ革新的な技術・技能
- [独自性] 従来にはなかった新しい価値を生み出した革新的な取り組み
- [有用性] 伝統を活かしつつ更に有用な機能を付加した革新的な取り組み
- [持続性] 産業として持続性さらには市場拡大など未来につながる革新的な取り組み
- [国際性] 国際化の為にしている革新的な取り組み、または、今後の意思

第2回三井ゴールデン匠賞 審査員



大島 真彦
審査員長
三井広報委員会委員長
三井住友銀行
取締役兼専務執行役員



赤瀬 浩成
メイド・イン・ジャパン・プロジェクト
代表取締役



赤沼 多佳
公益財団法人三井文庫
三井記念美術館 参事



遠藤 充
三越伊勢丹
呉服・美術統括部
美術商品部 部長



佐々木 千雅子
一般財団法人
伝統的工芸品
産業振興協会 相談員



佐藤 達郎
多摩美術大学 教授
コミュニケーション・ラボ
代表



ゾエルゲル・ニコラ
老舗梅干専門店
「ちんりう本店」役員



田中 里沙
事業構想大学院大学
学長
宣伝会議取締役



ボブ 田中
東北芸術工科大学
デザイン工学部 教授
ボブ田中事務所 代表



能作 克治
能作 代表取締役



水野 学
クリエイティブディレクター、
good design company代表

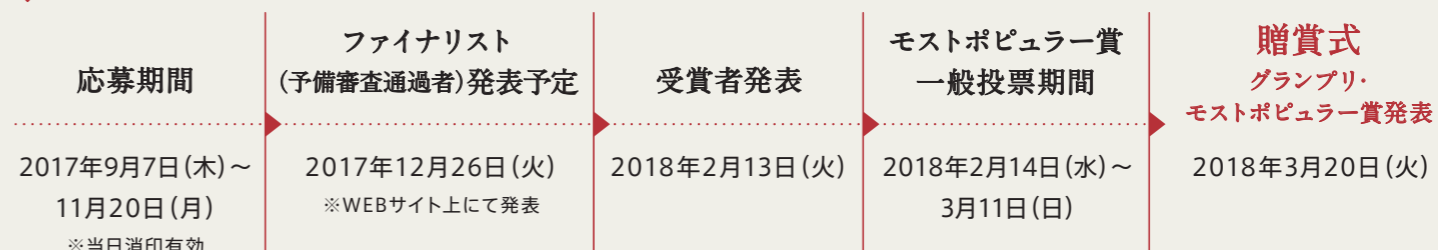


矢島 里佳
和える 代表取締役



山田 遊
バイヤー 監修者

◇ スケジュール



お問い合わせ先 Tel : 03-3475-7673 Mail : mgt@mitsuipr.com